

もうすぐジメジメと蒸し暑い梅雨の季節になりますね。

ここ数年の異常な夏の暑さを踏まえて、少しでも多く水遊びを楽しめるよう、  
今年はプール開きを前倒しして時期を早めています。

子ども達が元気に楽しく夏を過ごせるようにしていきたいと思っています。



別紙でお伝えした「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」。

小学校生活にスムーズに移行できるように文部科学省から掲げられた指標です。

これはあくまで目安となるもので、達成目標ではありません。

この10の姿を目安としながら、保育園ではそれぞれの発達段階に合わせた支援や活動を行っています。

にじ組では、4月下旬から野菜の苗を植えて毎日お当番さんが水やりをしています。

野菜の様子を観察しながら「大きくなってきたねー!」「葉っぱが増えたよね」と変化に気付いたり、どんな料理にしようかと考えたり。

また、ロケット公園で捕まえたおたまじゃくしを手作りビオトープで育てたり、  
園庭のみかんの木で発見したアゲハの幼虫を観察したりと虫や野菜に興味を持ち、  
一層関心を深めている子どもたちです。

これらは10の姿のうちの「自然との関わり 生命尊重」にあたる活動となっています。

10の姿を目安としながら、子どもたちが保育園での活動を通じて毎日をイキイキワクワクと過ごせるように、また保護者の方ともそれを共有しながら大事に関わっていきたい  
と思っています♪